

科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」アドバイザー委員会
における今後の議論の進め方について(案)

平成 28 年 2 月 3 日

1. アドバイザー委員会の検討事項について

アドバイザー委員会での検討事項については、第 21 回推進委員会において、以下を主たる検討事項として示されたところ。

＜主な検討事項＞

- ① 「政策のための科学」と「政策形成」の共進化の方向性や方法論
- ② 「科学技術イノベーション政策のための科学」の「科学」の在り方
- ③ 政策形成プロセスの進化の在り方
- ④ 科学技術イノベーション政策の哲学的・歴史的背景とその将来像
- ⑤ 海外の類似の取組等と比較した、日本の取組の在り方
- ⑥ 本事業の推進による、中長期的な将来像

2. 平成 28 年度の事業開始に当たりご検討いただきたい事項

平成 28 年度の事業開始に当たり、1 の事項を念頭に、下記についてご検討いただきたい。

- 事業全体に共通する 5 年間の目標
(各拠点・関係機関が事業を実施するに当たり共通の目標とすべき 5 年間の目標など)
- 事業全体の体系化(システムとしての成果創出)のために考慮すべき事項
(各拠点・関係機関の連携の在り方、各領域や各プロジェクトの連携の在り方 など)
- 中核的拠点機能(SciREX センター)の在り方
(各拠点・関係機関の取組内容と政策側(文科省)との接続の在り方 など)

3. 議論の進め方等

議論の進め方として、委員各員の「政策のための科学」に関する考え方について各々の意見を提示していただき、それに基づく議論を踏まえながら意見を取りまとめていく予定。

上記 2 の検討事項については、平成 28 年 3 月末までに意見を取りまとめることとするが、それ以降も引き続き上記 1 の内容に関して、より中長期的な議論を行う予定。